



も ず め くる ま づ か こ ふ ん せ き し つ 物集女車塚古墳の石室を一般公開しました

- 日程 令和元年5月22日（水）～31日（金）
- 内容 物集女車塚古墳は、物集女町南条にある古墳時代後期（6世紀中頃）の全長約46mの前方後円墳で、良い状態で石室が残っている貴重な古墳です。毎年期間を限定して、その内部が公開されています。今年も上記日程で一般公開され、担当者の説明を聞きながら、普段は入ることができない石室を見学しました。



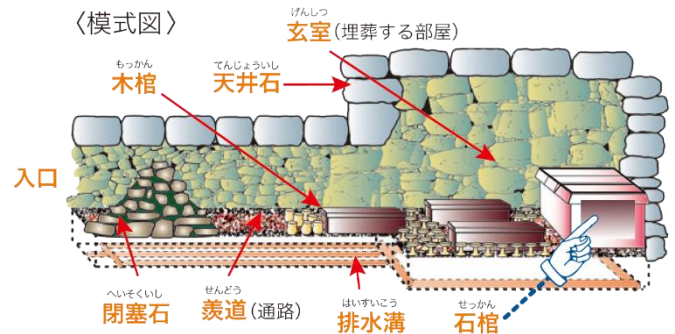
この中に入れます！



古墳の横に石室への入口があるため「横穴式石室」と呼ばれています。

石室とは??

古墳の中に造られ、亡くなった人を入れる石づくりの施設です。物集女車塚古墳の床面の地下には、室内へしみ込んだ雨水を外へ流すための排水溝があります。南側の道路ぎわには案内板があり、そこから現在も機能する排水溝を見ることができます。



アプリ「墳タビ！ 物集車塚古墳」を使うと、AR（拡張現実）やVR（フルCG）で築造当時の古墳を体験することができます！



物集女車塚古墳ができたころ…

継体天皇が造った「弟国宮（おとくにのみや）」という都が518年から526年までの8年間、乙訓地域にありました。物集女車塚古墳もその時代に作られていることから、継体天皇を支持した豪族の墓ではないかと考えられています。